

万能VFO4 結線説明書_{Ver0.1}

MD1

ユーザーがご用意すべき物は

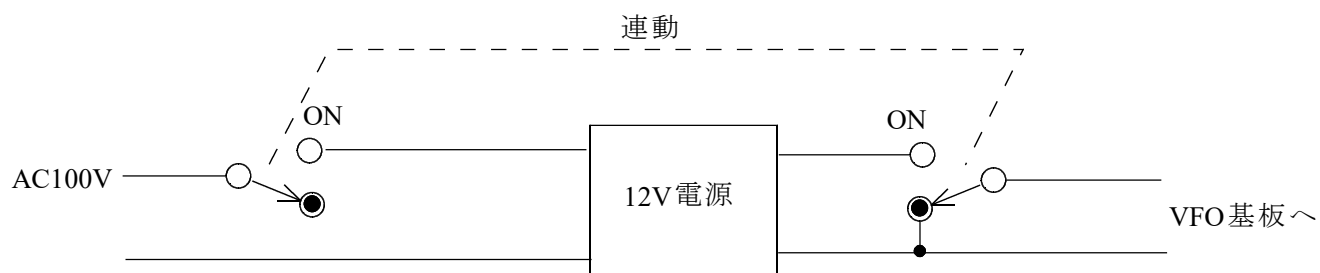
- 1 押し釦スイッチ12個
2. 電源スイッチ 2回路の物が必要です。

結線は電源関係と、押し釦スイッチ関連、VFO出力、HFO出力のみです。必要に応じて外部信号の結線が必要です。

供給電源の結線は次のように行って下さい。メモリーのバックアップの関係上指示通りに結線して下さい。電源電圧は12Vを超えてはなりません。最低電圧は10Vです。なるべく低い電圧でお使いください。

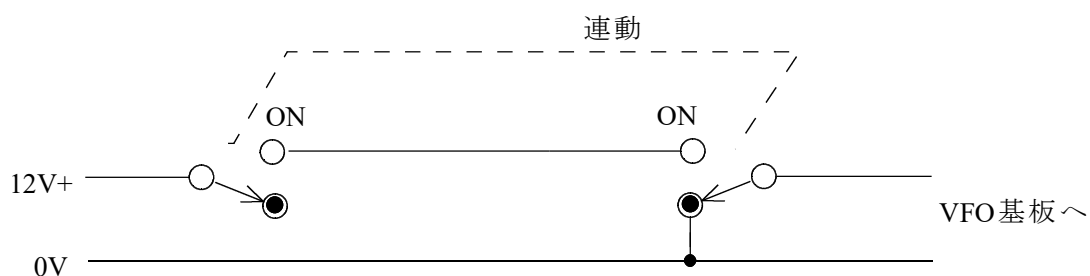
1. 12V専用電源を備えた場合

2回路スナップ・スナップスイッチを用意して下記のように結線します。



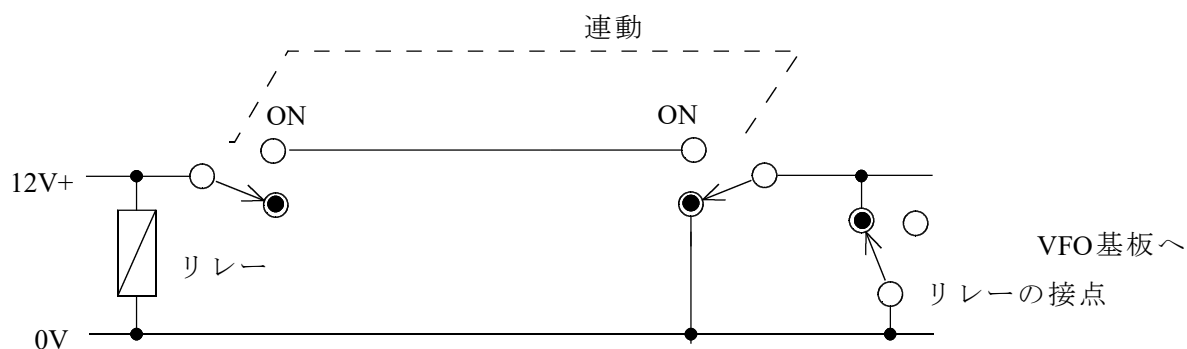
2. 外部12V電源を使う場合

2回路スナップ・スナップスイッチを用意して下記のように結線します。

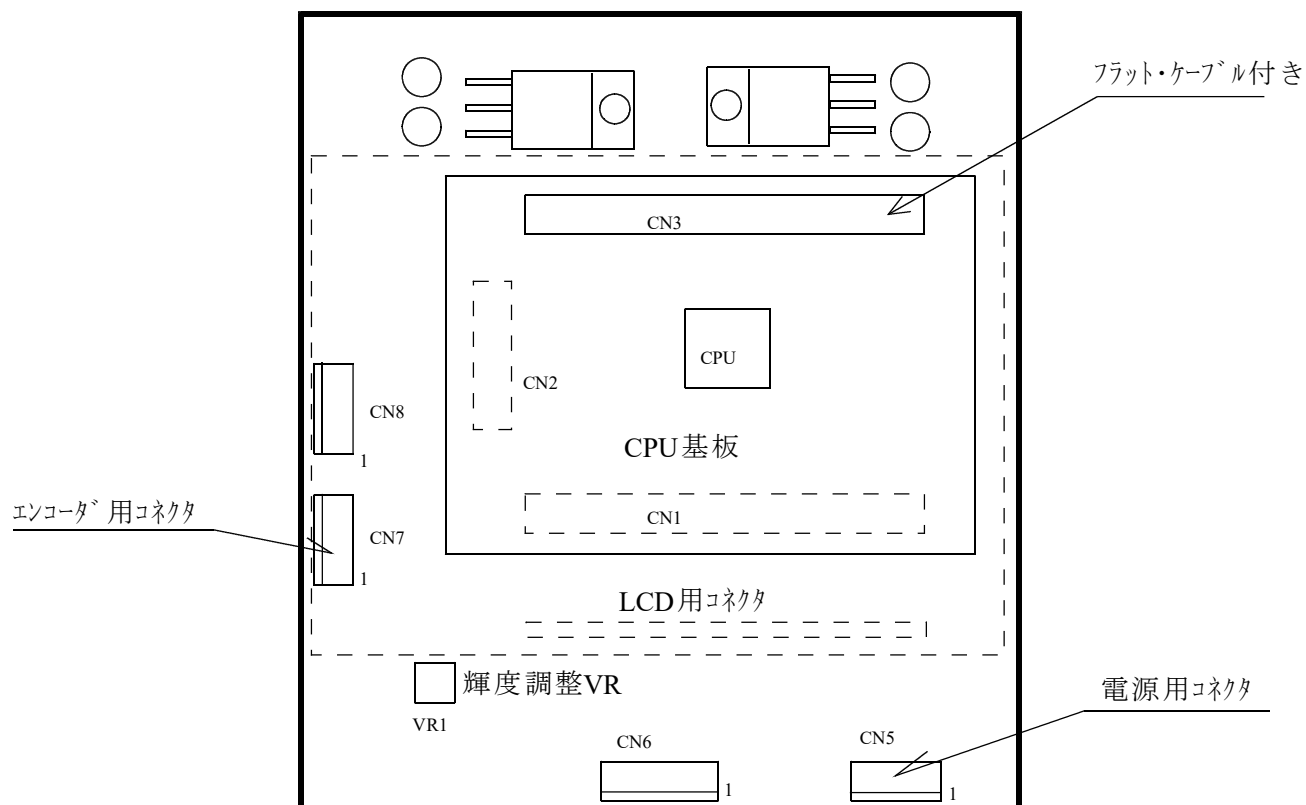


この回路を使う場合には、電源を切る場合、必ず上図のVFO側スイッチをオフにしてから行って下さい。

下記のようにすれば、電源遮断順序は問われません。



CPU/LCD基板



CN5 電源コネクタ

1. +12V
- 2.
3. バックアップ用電池4.8V
- 4.
5. GND

CN8 モニター用(未使用)

- 1.
- 2.
- 3.
- 4.
- 5.

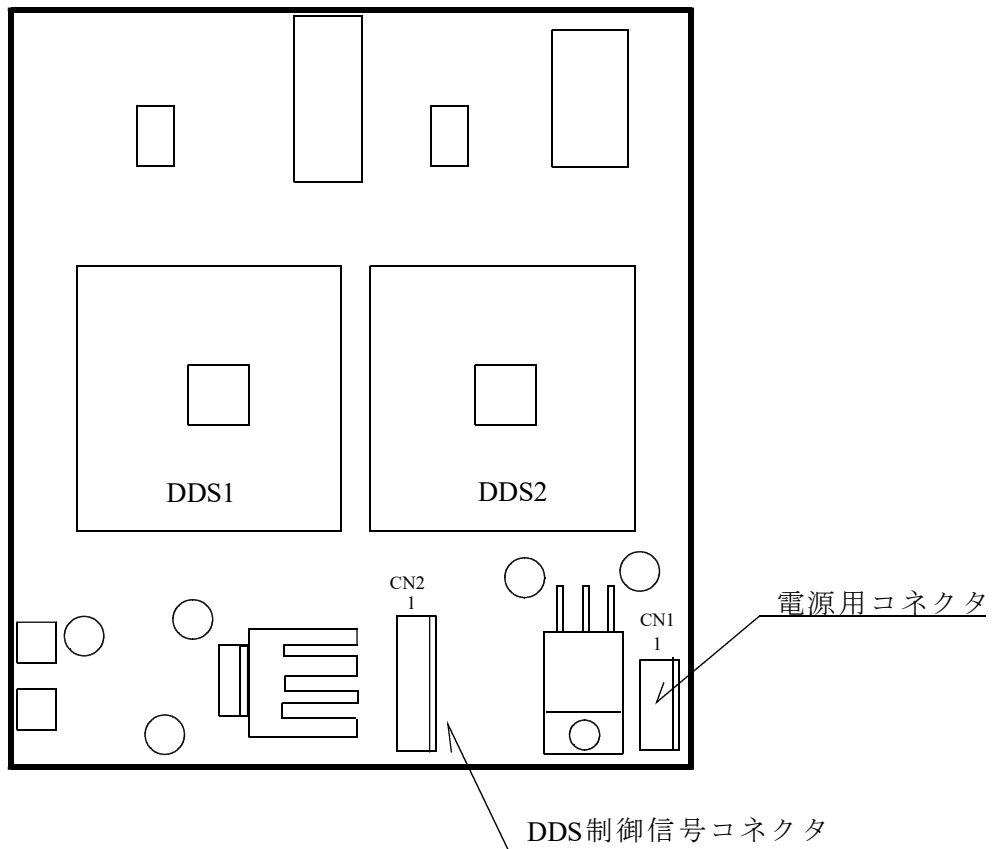
CN6 ツール接続用コネクタ(ユーザーは使いません)

1. FEW
2. P9-0 TX0
- 3.
4. VCC
5. P9-2 RX0
- 6.
7. GND

CN7 エンコーダー接続用

1. GND
- 2.
3. B相
4. A相
5. VCC 5V

DDS基板

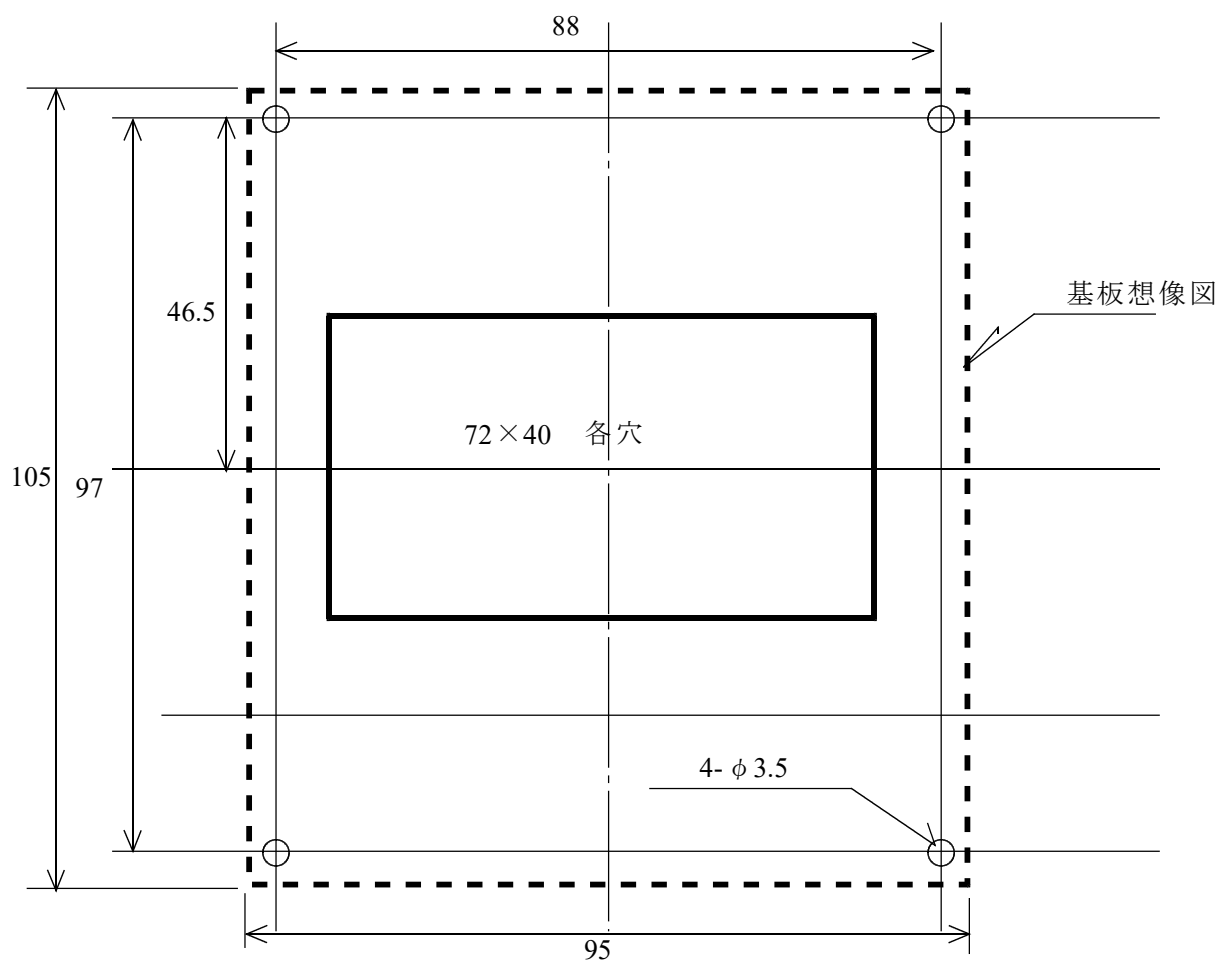


CN1 電源コネクタ

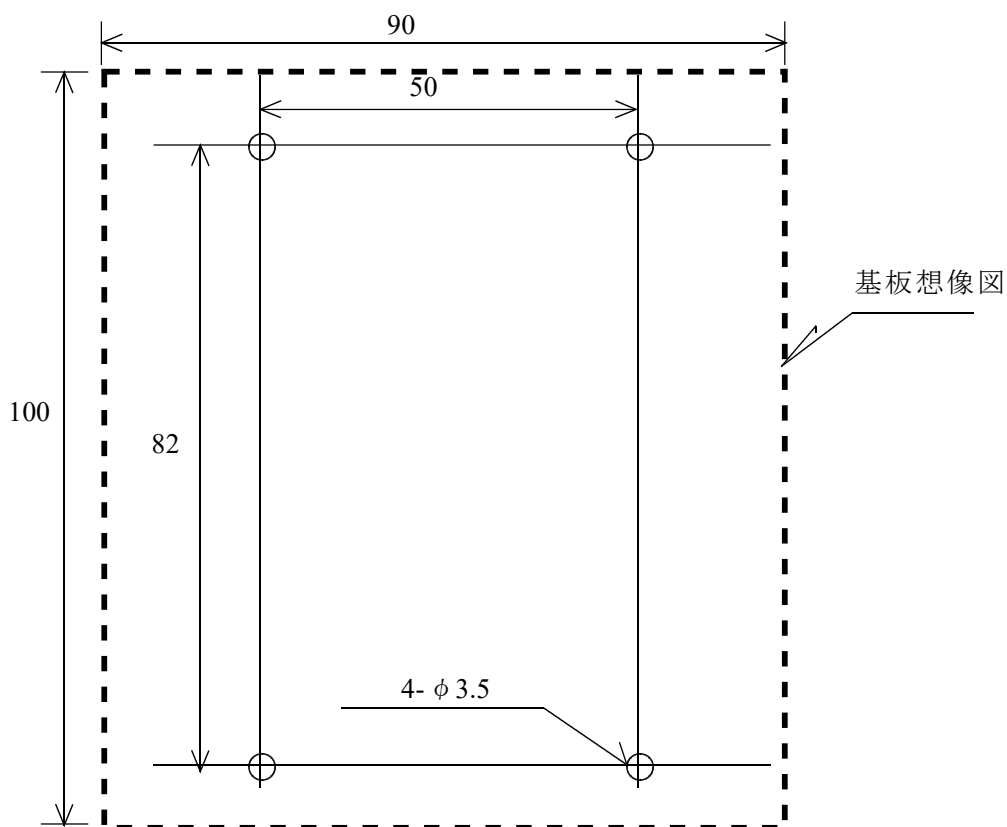
1. GND
2. GND
3. GND
- 4.
5. 12V

CN2

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. GND | |
| 2. | |
| 3. RESET P1-7 | CPU/LCD CN3-22 より |
| 4. CS1 P1-6 | CPU/LCD CN3-21 より |
| 5. SCLK P1-5 | CPU/LCD CN3-20 より |
| 6. SDIO P1-4 | CPU/LCD CN3-19 より |
| 7. UPDATE P1-3 | CPU/LCD CN3-18 より |
| 8. CS2 P1-2 | CPU/LCD CN3-17 より |

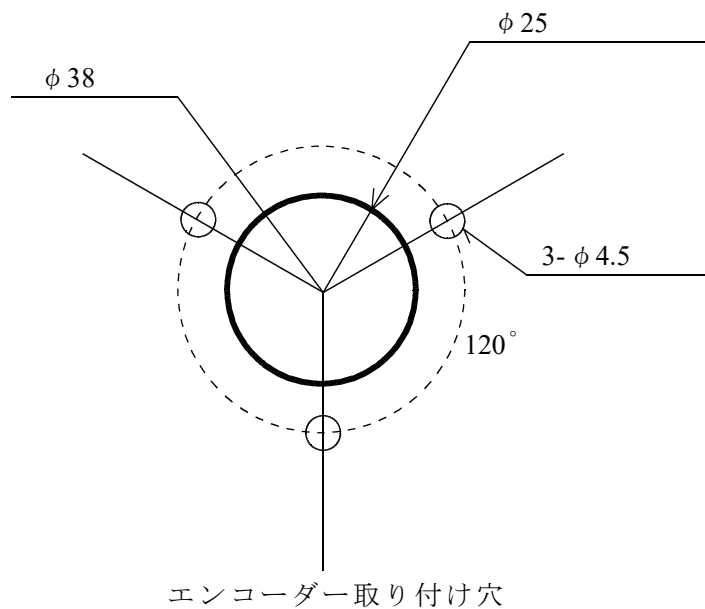


CPU/LCD 基板取り付けパネルカット



DDS基板取り付け穴位置

エンコーダー取り付け穴



エンコーダーの直径は50 ϕ ありますので、他の部品に当たらないようにご注意ください。

I/O割付

ユーザーが行う結線作業とは無関係です。

CN1

1	GND	
2	GND	
3	PB8-0	
4	PB8-1	
5	PB8-2	
6	PB8-3	
7	PB8-4	
8	PA-0	エンコーダー A相
9	PA-1	エンコーダー B相
10	PA-2	LCD RES(17)
11	PA-3	LCD E(6)
12	PA-4	LCD CS2(16)
13	PA-5	LCD CS1(15)
14	PA-6	LCD R/W(5)
15	PA-7	LCD DI(4)
16	PB-0	LCD DB0(7)
17	PB-1	LCD DB1(8)
18	PB-2	LCD DB2(9)
19	PB-3	LCD DB3(10)
20	PB-4	LCD DB4(11)
21	PB-5	LCD DB5(12)
22	PB-6	LCD DB6(13)
23	PB-7	LCD DB7(14)
24	FEW	
25	P9-0	
26	P9-1	TOOL TX1
27	P9-2	
28	P9-3	TOOL RX1
29	P9-4	
30	P9-5	
31	P4-0	
32	P4-1	
33	P4-2	
34	P4-3	

- 35. 5V
- 36. 5V
- 37. GND
- 38. GND
- 39. POWER(未使用)
- 40. POWER(未使用)

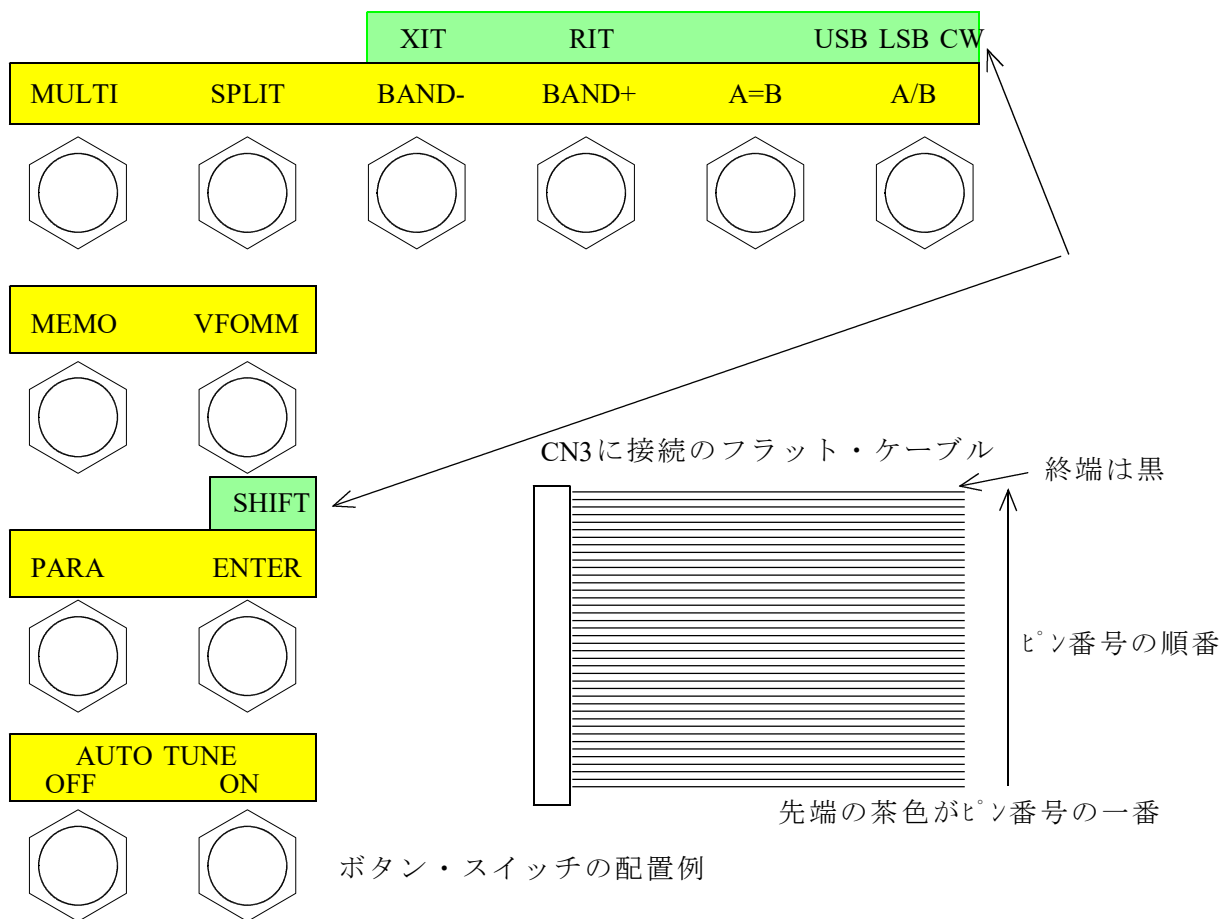
CPUI/O割付

フラットケーブルが予め装着してあります。exの付いた信号はユーザーが自由に使えます。
exの付いた外部信号につきましては、取り扱い説明書を参照願います。

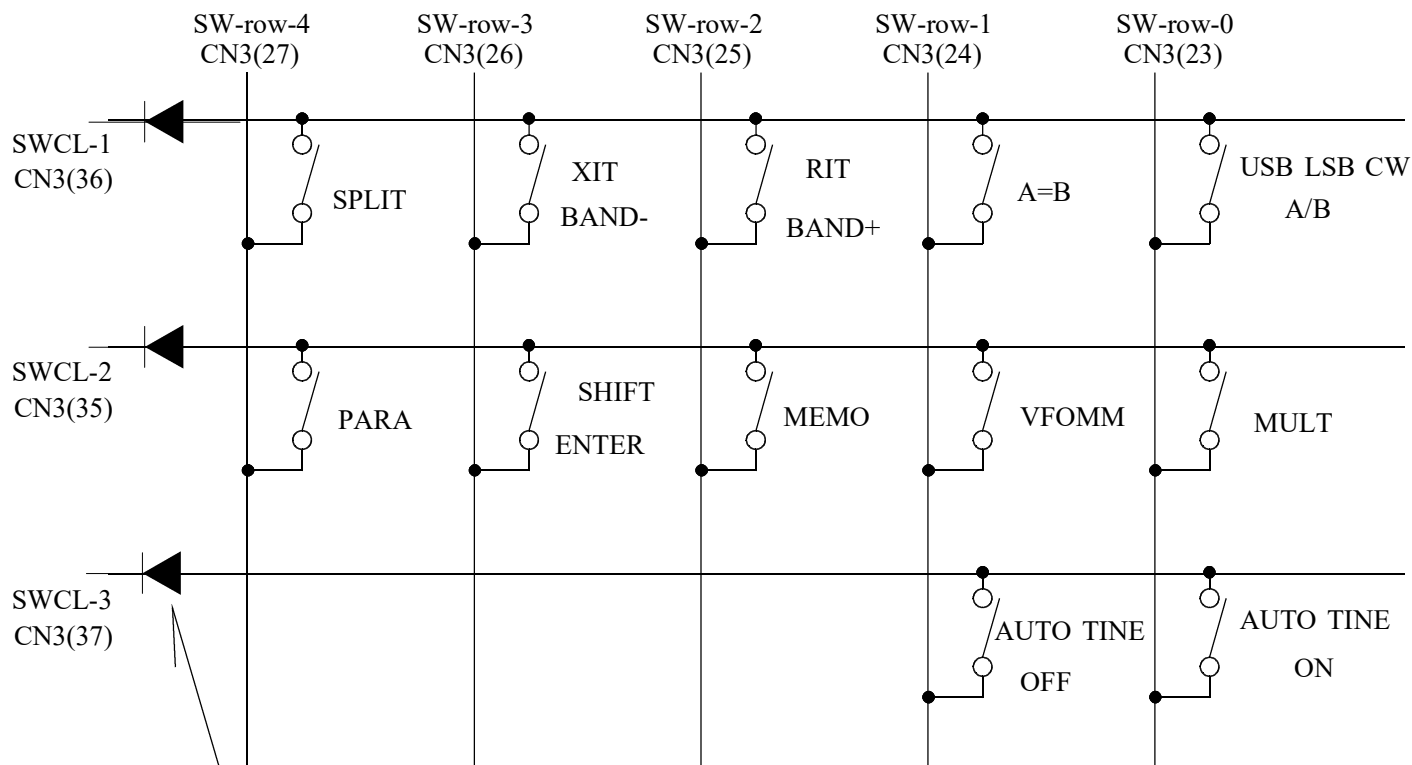
CN3のみユーザーが使います。

1	GND	
2	GND	
3	P4-4	
4	P4-5	ex 14BAND 10
5	P4-6	
6	P4-7	ex 28 BAND 14
7	P3-0	ex 1.8 BAND 0.1
8	P3-1	ex 3.5 BAND 2~7
9	P3-2	ex 7 BAND 8
10	P3-3	ex 10 BAND 9
11	P3-4	
12	P3-5	ex 18 BAND 11
13	P3-6	ex 21 BAND 12
14	P3-7	ex 24 BAND 13
15	P1-0	DDS CS2
16	P1-1	DDS SLCK
17	P1-2	
18	P1-3	DDS UPDATE
19	P1-4	DDS SDIO
20	P1-5	
21	P1-6	DDS CS1
22	P1-7	DDS RESET
23	P2-0	SW-row-0
24	P2-1	SW-row-1
25	P2-2	SW-row-2
26	P2-3	SW-row-3
27	P2-4	SW-row-4
28	P2-5	ex SEND IN
29	P2-6	
30	P2-7	
31	P5-0	ex SEND OUT
32	P5-1	ex LSB
33	P5-2	ex USB
34	P5-3	ex CW

35	P6-0	SWCL-2
36	P6-1	SWCL-1
37	P6-2	SWCL-3
38	CK	
39	GND	
40	GND	



カッコ内数字はピン番号です。



ボタン・スイッチの結線はこのようなになっています。

ボタン・スイッチの配置が、どうであれ、このように結線します。

電源投入時の注意点

1. 電源のプラスマイナスは絶対に間違わないように、再度ご確認ください。
2. バラックで試験する場合にはCPU/LCD基板とDDS基板とのアースをなるべく短い線で接続しておいて下さい。出来れば、アルミ板等金属板に設置して各基板がかかる金属板に接地されるようにすることを推奨します。
3. 結線後、最初の電源投入時には、必ずオールクリアをします。この時、バックアップ電池を装着しておきます。オールクリアはA/BとSPLIT両スイッチを同時に押しながら電源投入を行います。オールクリア後の操作につきましては、取説を参照願います。